

# 岐阜県家庭教育学級実践事例

## 在宅取組型(中学校)

学校名等	輪之内町立輪之内中学校
実施日時	令和7年7月20日(日)~8月26日(火)夏季休業期間中
会場	各家庭
参加人数	1年生徒(96名)及び保護者 2年生徒(93名)及び保護者
学習課題(分野)	(1年)親子で料理に挑戦しよう。(家族の大切さ) (2年)親子で情報モラルについて考えよう。(基本的な生活習慣)
運営者の願い	(1年)「親子レシピ」の取組を通して、親子のコミュニケーションを図る。 (2年)「親子情報モラル新聞」の作成を通して、各家庭で生徒の情報モラルの向上を図る。

### 学習の内容

#### <1年「親子レシピ」>

①「A うちの自慢レシピ」「B スイーツレシピ」「C レンジ・炊飯器レシピ」のテーマから1つを選択し、親子で取り組んだ。

【料理例 ミャクミャクごはん】

②PTA 子育て委員会を開き、作品の掲示作業をした後で、優れた作品について「PTA 会長賞」「校長賞」「優良賞」「特別賞」を決定し、夏休み明けの全校集会で表彰した。



【作品1】

#### 【親子レシピの感想】

- ・ 形を意識するのが難しかったけど、楽しかったです。(生徒)
- ・ 大阪万博には行ってないけれど、万博を身近に感じられ、楽しく作れたのでよかった。ミャクミャクのパーツの1つ1つが細かくて、作業に時間がかかったけれど、子供より私の方が夢中になって作っていたような気がします(保護者)

#### <2年「親子情報モラル新聞」>

①夏季休業期間に各家庭で「親子情報モラル新聞」を作成して、親子で話し合いを行った。

【題材例】

右の新聞を書いた生徒は、「家や学校も含めて、タブレットは時間を考えて使う」という宣言を立てている。



②PTA 安全・校外委員会を開き、作品の掲示作業をした後で、優れた作品について「PTA 会長賞」「校長賞」「優良賞」「特別賞」を決定し、夏休み明けの全校集会で表彰した。

#### 【親子情報モラル新聞の感想】

今まで何げなく受け入れてきたタブレット教材だったけど、学力の顕著な低下の原因になっていることや、それによって教科書を紙に戻した話も知って驚きました。タブレットは依存性が高く、健康を損なう可能性があることも分かったので、これからは使用時間に注意していこうと思いました。(生徒)

#### <取組の成果>

- ・ それぞれの取組を通して、親子のコミュニケーションを図ることができてよかった。



### 作品の共有

たいへん素晴らしい作品が多かったため、委員の方だけではなく、他の保護者にも各家庭での取組を知ってもらえるように、校舎内にしばらく掲示をし、保護者が来校した際に見ることができるようにした。